

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成27年12月14日 No38

## 生徒会からの MISSION (使命)

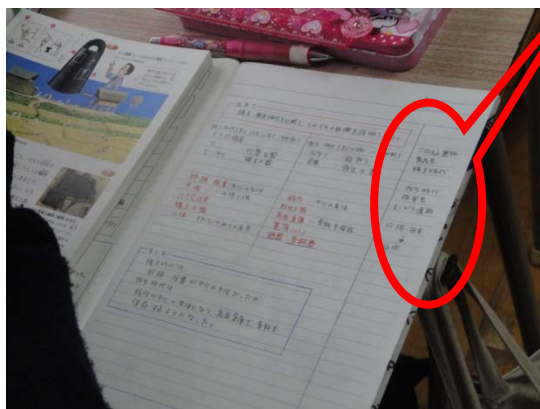


左の写真は「今日はこのクラスに生徒会から重要な仕事を任されました。それは…」という村瀬先生の導入で始まった数学の授業の様子です。このクラスに課された使命とはワクチンを送るために全校生徒が集めたペットボトルのキャップの数を調べることです。小学校算数のポイントは「は(速く)・か(簡単に)・せ(正確)」でした。中学校数学も同じことが求められます。生徒はどうしたら速く、簡単に調べられるか考えます。そして、重さと数の関係が比例の関係にあることに気づいていきます。小学校の算数

では、数量の関係を□、△、a、x等を用いて式に表しそれらに数を当てはめて調べたり、変化の様子を折れ線グラフで表し変化の特徴を読み取る学習をしてきました。中学校数学ではその学習を踏まえて、具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出して、その変化や対応の仕方に目を向け、関数関係の意味を理解できるようになることが学習の内容となっています。生徒は20個のキャップの重さを調べ、それを基に重さ(y)と数(x)の関係を比例の文字式 $y = ax$ に表し、各グループで分担して真剣にメモリを確認しながら数を求めました。その結果は約9,990個です。さて、何人分のワクチンを送ることができたのでしょうか？



## 1年生のノートもメモ欄が充実！



左のノートを見てください。1年生の社会科のノートです。メモ欄が充実しているのが分かります。3年生(No18)、2年生(No10)のノートは既に校長だよりで紹介しましたが、1年生のノートもメモ欄が充実してきました。山脇先生にお聞きすると、良くできているノートのモデルを紹介し、今メモ欄が充実するように取り組んでいるそうです。メモが充実するということはそれだけ集中力とともに、要点を正確に聞き取る力を鍛えていくことができます。しかし、これらは、すぐにできることではありません。毎日の努力の積み重ねがあればこそです。次に続く人たちを期待しています。